

ほけんだより 3月

水戸啓明高等学校
保健厚生部
令和6年3月18日(月)



少しずつ暖かくなり、梅が見頃を迎え、桜が咲き始めるなど、春らしさを感じられる時期がやってきました。植物の開花に触れ、季節を感じることで、心が癒され、リフレッシュできます。たくさんの綺麗な花が咲く春を楽しんでみましょう。

耳が聞こえにくいと...



普段、生活していると周りから人の話し声や車の音、雨の音など、いろいろな音が聞こえてきますね。みなさんは知らないうちにその音を頼りに生活しています。でも、聞こえにくい人や耳が聞こえない人もいます。もし耳が聞こえにくかったら、どんな場面で、どんなことに困りそうか考えて、練習してみよう。



- 自動車が近づいても気付かない
- 非常時の放送やサイレンが聞こえず、適切な行動がとれない
- 手話や字幕がないと内容がわからない
- 聞こえる人同士の会話に入れない
- 自分の名前を呼ばれても気付かない
- 電光掲示板がないと停車駅がわからない



音が聞こえないと困ることがたくさん。でも、手話や筆談、スマホを使うなど、伝える方法もいっぱいあります。もし困っている人がいたら、何ができるか考えてみましょう。

子どもでも聞こえにくくなる?

「耳が聞こえにくくなるのは【お年寄り】とと思っている人が多いかもしれませんが、若い人にも起こることがあります。



イヤホン難聴 (ヘッドホン)

イヤホンを使って大きな音で長時間聞いていると起こる、若い人に多い難聴です。聞こえが悪くなるだけでなく、耳が詰まった感じがしたり、耳が痛くなったりします。イヤホンの使い方に注意しましょう。



突発性難聴

急に片方の耳が聞こえにくくなります。耳が詰まったような感覚やめまい、耳鳴りを伴う人もいます。

メニエール病

耳鳴りや耳が詰まる感じ、耳の聞こえが悪いといった聴覚症状を伴うめまいの発作をくり返す病気です。

聞こえにくいだけなので、放置しても大丈夫と思われがちですが、放置する時間が長いほど、治りにくくなってしまいます。

「耳に異常を感じたら 早めに耳鼻科を受診しましょう」